

畜産の振興について

山崎 雄平 議員

質問 農業、畜産は環境の機能維持と保全を図り大切な国土の景観、国民の健康と命を守る産業で、中国産はイヤだ、国内農畜産物が安全安心といいながらも物が有り余り、粗末にされこみとして捨てられている。その日の食物にも困り配給で列をつくり飢えている国

があるというのに、日本の農業、食料自給率は減るばかりである。本市は純農地帯であり、工業生産額と同じに農業生産額も基幹産業の一つで、その大半を畜産が占めている現状である。前橋市はトントンのまちを標ぼうし、東吾妻町では多くの畜産を基地建設事業で

成功させた。渋川市では今後この畜産の振興をどのように取り組み、支援していくのか。

答弁 農業の問題は、輸入に頼らざるを得ない原油や肥料・飼料の価格・経営費と販売価格とのバランスがとれないこと、価格に反映されないことだと考えます。それは畜産だけでなくほかの農業においても同様です。飼料高騰に対し、国では支援を検討しているようですが、それ以上に飼料

自給率の向上が求められています。今後輸入飼料が安定的に供給されるかは不透明であり、地域と連携した飼料生産の取り組みを、県等と連携し、支援していきたいと考えます。渋川市の畜産経営においては法人経営も多く、年齢の若い認定農業者等も多く、様々な取り組みを期待するとともに支援をしていきたいと考えます。また、畜産団地などの取り組みがあれば支援していきます。



市内の養豚場

農業振興について

須田 愛作 議員

質問 原油価格の高騰で畜産、施設園芸、耕種農家は経営が厳しい中、販売も低迷しているが、市の施策、支援は。

答弁 原油価格の高騰で畜産、施設園芸、耕種農家は経営が厳しい中、販売も低迷しているが、市の施策、支援は。

答弁 国産飼料の増産による飼料自給率の向上に向けた飼料用稲や飼料用米の作付け推進、耕畜連携による飼料生産、施設園芸省エネ

答弁 今後、記載内容についての確認を行い、所有者の意向等の聞き取り及び物件の写真撮影や痛み具合等

進みます。

健康診断について

質問 今年度の特定健康診断は各地区で保健センター1カ所を集めて実施したが、どうしてか。

答弁 今年度から国保対象者の特定健診と一般の胃がん検診を集団健診会場で空腹時に同時に実施しています。健診会場と2台の大型検診車の都合で各地区保健センターで実施していますが、大腸がん、前立腺がん検診も同時に受診できます。



胃がん検診車

一般質問

雇用促進住宅を

譲り受けて市営住宅化に

入内島 英明 議員

質問 渋川市には3施設の雇用促進住宅があります。金井の施設は平成21年に廃止とのことですが、関係先から当局に譲渡の打診はあったか。

答弁 最終的な意向調査があり、「譲渡を受ける意志はない」と回答しました。

質問 国土交通省令の関係

で公営住宅法に雇用促進住宅は適合しないので譲り受ける考えはないと今日まで言ってきました。しかし、今年度国土交通省令が改正になります。公営住宅法に地方自治体の裁量権が与えられれば市営住宅として譲り受けることができるかと考えられます。

答弁 公営住宅法が改正され、自治体の裁量で決められれば、市営住宅として認めることができる可能性があります。

質問 八木原駅前の総合開発は経済状況から無理と思うが、駅の東側の開発は連絡橋ができれば活性化されると考えられます。16年間、地元住民は待ち望んでいますが、東側の市有地を草ぼうぼうにしておかないで早期設置を願いたい。

質問 早期に庁内検討委員会を設置して、渋川市営住宅等条例を改正し、市営住宅として存続していただきたい。

答弁 市営住宅の建て替えや既存施設の改修等を考慮し、市営住宅として譲り受けるかどうか検討したい。



住民が待ち望む東西連絡橋

市の施策の推進体制と

平成20年度渋川山車まつりについて

今成 信司 議員

質問 市の施策を毎年考案しているが、良い方向に動いているのか。

つりにおいて、市長の発言で「渋川山車まつりは市民祭ではない」とされています。

答弁 本年度施策については予算編成重点項目に基づきおおむね順調に進捗していますが、引き続き、調整等を十分図り、確実な執行に努めていきます。

答弁 旧渋川町を中心にした町内が、自治会ごとに独自の練習などを重ね、住民が一致団結して行う地区行事と考えています。

質問 本年度の渋川山車まつり

質問 先祖から伝わる自町

答弁 八木原駅は駅周辺人口、利用者も横ばい状態であり、周辺地域の開発動向等を踏まえた周辺整備計画を立て、その中で検討していく必要があると考えます。

質問 この山車まつりは旧渋川町の歴史を形に残している風俗文化です。渋川市民の思いと心を、また、発展の方向性を間違わないようにお願いしたい。

答弁 地域の伝統行事への積極的なかわりを通して、社会ルールや我慢強さや対人関係能力を育てることは大切であると思います。

答弁 学校・家庭・地域の3者がお互いに連携して、

答弁 地域の住民の熱意や、伝統の継承を願う人々の思いをつないでいくことに對して支援していきます。



自町内名を掲げる
渋川山車まつり